

1 期 日

- (1) 開 会 式 令和元年 11 月 2 日(土) 9:40～
監督会議 9:20～(各会場にて実施し会議終了後 1 回戦のオーダー提出とする)
- (2) 競 技 令和元年 11 月 2 日(土)・3 日(日)
11 月 9 日(土)・10 日(日)・11 日(月) 5 日間

2 会 場

- ・大津町総合体育館
〒869-1217 菊池郡大津町森 1000 Tel 096-293-8088
- ・玉名市総合体育館
〒865-0023 玉名市大倉 1144 Tel 0968-75-1314
- ・東陽スポーツセンター
〒869-4301 八代市東陽南 128 Tel 0965-65-2210
- ・芦北町民総合センター
〒869-5442 葦北郡芦北町花岡 1705-1 Tel 0966-82-5858
- ・熊本県立八代東高等学校体育館
〒866-0866 八代市鷹辻町 4-2 Tel 0965-33-1600
- ・熊本県立芦北高等学校体育館
〒869-5431 葦北郡芦北町乙千屋 20-2 Tel 0966-82-2034

3 競 技 種 目

- (1) 団 体 戦 男・女 学校対抗戦
(2) 個 人 戦 男・女 個人対抗戦 (シングルス・ダブルス)

4 競技日程

期 日	開始時間	内 容 (種目)	会 場
11月 2日 (土)	9:20	監督会議 (各会場)	大津町総合体育館 (男子)
	9:40	開会式 (各会場)	※開場 8:30
	10:00	男女学校対抗 1回戦～準々決勝	玉名市総合体育館 (女子) ※開場 8:00
11月 3日 (日)	9:30 ※開場 8:30	男女学校対抗 準決勝・決勝 3位決定戦・2位決定戦	大津町総合体育館
11月 9日 (土)	9:30 ※開場 8:00	男女個人対抗戦ダブルス	東陽スポーツセンター (男子)
		1回戦～決勝・3決・2決	県立八代東高校 (男子)
			芦北町民総合センター (女子)
			県立芦北高校 (女子)
11月10日 (日)	9:00 ※開場 8:00	男女個人対抗戦シングルス 1回戦～5回戦	同 上
11月11日 (月)	9:30 ※開場 8:00	男女個人対抗戦シングルス 6回戦～決勝・3決・2決	東陽スポーツセンター

- ※ 監督の先生は、監督会議がありますので、11月2日(土)9時20分には各会場にお集まりください。
また、開会式には、学校対抗戦に出場する選手は、全員参加してください。
個人戦の監督会議・開会式は行いません。個人戦については、棄権がある場合には速やかに本部へ連絡をしてください。

【注意事項】

I 会場使用上の注意

1 一般的心得

- (1) ゴミは、全て各学校・各自で持ち帰ること。ただし、会場で販売されているジュース等のゴミについては、各会場の役員の指示に従ってください。
- (2) 開館後のラケット等、物品を置いてのコート占有は禁止します。来館したのから順次、譲り合って練習ができるように心掛けて下さい。
- (3) 体育館及び関連施設を汚したり、傷つけたりしないよう、十分注意して使用すること。使用中の施設・設備及び器具等に破損が生じた場合は、必ず顧問の先生を通じて大会本部に申し出ること。
- (4) 他人に迷惑を及ぼす行為がないよう、施設・設備を使用すること。館内のロビーや通路・前庭・駐車場・ホール等での練習・ウォーミングアップは禁止します。
- (5) 体育館シューズと下履きとを明確に区別すること。
- (6) 体育館フロア内や所定の場所以外への飲食物の持ち込みは、厳禁である。
- (7) 体育館施設の電源等を勝手に使用しないこと。(保護者も同様)ビデオ等の電源は、各自のバッテリーで行うこと。ストロボ・フラッシュを使用しての撮影禁止。
- (8) 大会期間中は、各学校が責任を持ち、忘れ物・盗難に十分注意すること。道具を更衣室等に放置して帰らないこと。
- (9) 学校対抗戦、個人対抗戦にかかわらず、**応援は「座って」**行うこと。2階からの応援も同様とする。各体育館の2階座席1列目は、応援席として空けてください。
- (10) 開館時の体育施設への部旗張りや待機の場所取りは、危険を伴うので、極力安全面(走る行為等)に配慮すること。

『来たときよりも美しく』 『スポーツマンシップ』

をお互いに心掛けましょう。

II 競技上の注意

1 全般的事項

- (1) この大会は、2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則ならびに大会運営規程と本大会実施要項に基づき行います。
- (2) 選手は試合進行をスムーズにするために、学校対抗戦はタイムテーブルの1時間前、個人対抗戦は2時間前に待機しておいて下さい。
- (3) 試合進行の状況により、試合開始時刻およびコートを変更することもあり得るので、放送に十分注意すること。コールに応じなかった場合棄権と見なすこともあり得ます。
- (4) 正式ゲーム時、各ゲームともにどちらかが11点を先取した時に60秒のインターバル、第1ゲームと第2ゲームおよび第3ゲームの間に2分を越えないインターバルを認める。

※21点の簡易ゲームでは、11点時のアドバイスは認めない。給水も同じ。

- (5) 正式カウントは、別紙の通りで全種目・・・21点3ゲーム

2 学校対抗戦

- (1) 学校対抗戦出場校は、(公財)日本バドミントン協会【第1種検定合格水鳥シャトル】(秋冬型3・4番)を男女ごとに、1校当たり1ダース(ケースに男女別に校名記入の上)、11月2日(土)に会場にて提出してください。
- (2) 【学校対抗戦メンバー変更届】用紙は、高体連バドミントン専門部HPよりダウンロードして下さい。【オーダー用紙】は、当日会場で配付します。次回戦以降のオーダー用紙は、試合終了後、審判(敗者審判校)より手渡します。
- (3) オーダーは選手登録した5~7人の中でしか組むことはできません。登録外出場は失格となりますので、十分注意して下さい。
- (4) トーナメント戦方式による。ただし、3位決定戦・2位決定戦を行う。2位決定戦は、3位決定戦にて優勝校に負けた学校が勝った場合のみ、決勝戦で負けた学校と行う。

- (5) ダブルス 2 組、シングルス 3 名で行い、試合順はダブルス 1・ダブルス 2・シングルス 1・シングルス 2・シングルス 3 で実施する。なお、シングルス 1 出場者以外は、ダブルスとシングルスを兼ねて出場することができる。
- (6) 1 対抗戦は、3 ポイント先取とする。（ただし、1 回戦は最終シングルスまで行なう）
- (7) 試合進行上、並行試合も有り得る。
- (8) 正式ゲームでのインターバルは、学校対抗戦が連続する場合 20 分、対抗戦内で 2 コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は、10 分を与える。2 位決定戦は 30 分とする。
- (9) 監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、監督会議までとし、会場本部に所定の変更届用紙で提出する。（監督会議受付でも可）それ以後はいかなる場合も変更を認めない。
※医師の診断書は不要。コーチについては、学校長の認めた指導者もしくは部員とする。

3 個人対抗戦

- (1) シングルスおよびダブルスを行う。（シングルス・ダブルスは兼ねて出場できる。）
- (2) トーナメント戦方式による。ただし、3 位決定戦・2 位決定戦を行う。2 位決定戦は、3 位決定戦にて優勝選手に負けた選手が勝った場合のみ、決勝戦で負けた選手と行う。
- (3) 個人対抗戦が連続する場合は 15 分のインターバルをとる。2 位決定戦は 20 分とする。
- (4) 選手の変更は、いかなる場合も認めない。棄権の場合、当該校が大会本部に申し出ること。
- (5) アドバイス席に座ることができるのは、監督・コーチ・マネージャー・部員とする。

III 審判上の注意

- 1 審判は敗者審判員と公認審判員による審判と両方で実施します。敗者審判についてはルールを十分理解しておいて下さい。
- 2 次のような違反行為はしないように。
 - (1) 汗拭き、靴のひも締め直しなどで故意にプレーを中断すること。
 - (2) サービス前の極端に長いサーバーの停止や、極端に遅いレシーバーの構え。
 - (3) アドバイス席には 2 名まで入ることができる。助言はアドバイス席に入った監督・コーチ・選手のみとし、プレー間のみ行うものとする。それ以外の助言は一切することができない。
 - (4) シャトルの羽根を折ったり、広げたりする行為。
 - (5) 「抗議」「異議」は一切認めません。疑問のあるときは、礼儀正しく当該プレーヤーまた監督が主審をとおして大会本部に質問してください。もしその判定に服さないときは、その試合を放棄したものとみなします。
 - (6) ルールの改正に伴い、サーブ時に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15 以下となりましたので、十分に注意してください。
 - (7) ゲーム中の水分補給は、正式カウントのみ認めます。
 - (8) 学校対抗戦ベスト 8 に入った学校及び開催地の学校には、審判をお願いする。

IV 表彰

学校対抗戦 男女優勝校には、優勝カップ・賞状、3 位までは賞状を授与する。
個人対抗戦 優勝者はメダルと賞状、2 位～5 位は賞状を授与する。

V 資格取得

- (1) 学校対抗戦 1・2 位は、令和元年度全九州高等学校選抜バドミントン競技大会兼第 48 回全国高等学校選抜バドミントン競技大会九州地区予選会の出場資格を得る。《令和元年 12 月 20 日（金）～23 日（月）：沖縄県那覇市》の出場資格を得る。（但し、1 位のみ全国選抜予選の資格を得る）
- (2) 個人対抗戦 1・2 位は、令和元年度全九州高等学校選抜バドミントン競技大会兼第 48 回全国高等学校選抜バドミントン競技大会九州地区予選会《令和元年 12 月 20 日（金）～23 日（月）：沖縄県那覇市》の出場資格を得る。

VI 連絡事項

1 服装

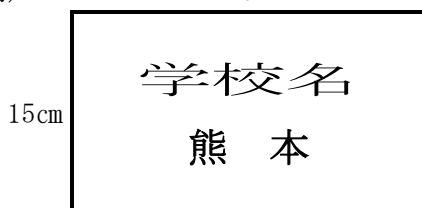
- (1) プレーヤは、相手または観客に不快感を与えないように、競技中、運動用ウェア、シューズを着用する。着衣等の色またはその組合せはどのようなものでもよいが、白一色の着衣を使用する場合は、上衣は襟付き半袖、下衣は男子はショートパンツ・ハーフパンツ、女子はショートスカートまたはショートパンツ・ハーフパンツとする。色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。ただし、ロングパンツの着用は県高体連専門部会の申し合わせにより認めないこととする。
- (2) 上衣の背面中央に必ず高等学校名および都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。(各学校にて上衣と文字との配色は十分検討してください。)

【上段：学校名（やや大きく）、下段：都道府県名】

ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦 15 cm・横 30 cmの大きさを基準とする。

(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。)

(例) 30 cm



※各学校ともに上記のように背面プリントか、ゼッケンを作成して下さい。

- (3) 開始式に参加するときの服装は、スポーツウェアか競技時の服装とする。

2 応急措置

競技時の傷害、疾病等の応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

3 その他

- (1) 引率責任者・監督・コーチ・マネージャーについて
 - ア 引率責任者は、校長の認める当該校の教員とする。引率責任者は事前に生徒指導の万全を期するとともに、出場者の行動に対して責任を負うものとする。
 - イ 監督は、校長が認める指導者とする。
 - ウ コーチは、校長が認める指導者または部員とする。
 - エ 監督・コーチが、外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。
 - オ マネージャーは、当該校の職員または部員とする。
- (2) 個人対抗戦のコーチングシートは、正式カウントの試合から設ける。また、コーチング・アドバイスについては、登録された指導者と部員のみとする。
- (3) 部旗の使用については、大きくないものとする。氷嚢を使用する場合は、小さめの保冷バッグに入れる事とする。
- (4) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは、禁止とする。
- (5) 使用水鳥球は、ヨネックス・ニューオフィシャルとする。